

このまちの見る夢が、
わたしの夢です。



ごあいさつ



飯塚信用金庫
理事長
正中 良樹

皆さまには、平素より飯塚信用金庫に格別のご愛顧を賜り、厚くお礼を申し上げます。
本年も「いいしん」のディスクロージャー誌「iishin DISCLOSURE 2024」を発刊いたしました。
ご高覧いただき、当金庫の経営内容や事業活動等について、ご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

さて、2023年度における我が国経済は、コロナ禍を乗り越え、緩やかな回復基調を取り戻し、日経平均は、34年ぶりに史上最高値を更新しました。しかし、業況や収益など企業部門は好調である一方、賃金や投資に十分に結び付かず、内需は力強さを欠いています。特に中小企業、小規模事業者は、原材料をはじめ物価の高騰、深刻な人手不足と引き続き厳しい状況にあります。

3月には、日銀がマイナス金利の解除を実施しました。追加利上げは急がず、当面は、緩やかな環境を続ける方針であり、当庫としても今後の金利情勢に注視し、適正かつ柔軟な対応を図っていく必要があります。

足元では、コロナ融資の無利息期間が終わり、元金返済も始まり、資金繰りの厳しさが表われている先も一部では見られます。これからは、価格転嫁の実施、GXやDXといった構造変化も新たな挑戦の機会と捉え、投資の拡大やイノベーションの実現により、生産性の向上や賃上げを促進していくことも大切となります。

こうした環境の中、当金庫では、重点目標である「いいしんらしいりレーションシップバンキングの深化」を大切にし、資金繰りの厳しいお取引先には業況把握に努め、一緒に改善計画を策定する等により、貸出金に対し柔軟な条件変更を実施してきました。又、新たな資金ニーズ時にも、スピードを意識した回答に努め、他金融機関との差別化を図ってきました。

業容面については、預金残高が地公体預金や大口先の減少などにより、前期から大幅にマイナスとなりましたが、貸出金残高については、上述したようにレスポンスを意識した取り組みとマイカー応援キャンペーンの利用増加等により減少に歯止めがかかり、利息収入も単月ベースでは前期比プラスに転じるなど、明るい兆しも見えています。

2024年度は、「いいしん、第6次中期経営計画」の2年目の年となります。次の100年に向け新たに生まれ変わらなければならないとの思いを込め、サブタイトルは「いいしん、Reborn。」としています。

役職員約200人で一人一人の存在価値は大きく、お互いに良い影響を与えながら、組織の一体感を高め、地域の皆様の成長・発展に資するよう運命共同体として頑張ってまいります。今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

もくじ

ごあいさつ	02
地域とのふれあい&トピックス	03
企業理念	05
中小企業の経営支援に関する取り組み	06
地域経済活性化への取り組み	07
おもな事業内容・おもな業績	09
組織	11
総代会	13
信金中央金庫・クローバーしんきんグループ	16
リスク管理体制・コンプライアンス体制	17
お客さまの保護について	19
営業のご案内	23
投資信託のご案内	26
手数料のご案内	28
サービスのご案内	30
資料編	32
パーゼルIII	55
あゆみ	63
索引	64
店舗のご案内	65



概要

(2024年3月31日現在)

名称	飯塚信用金庫
所在地	福岡県飯塚市本町11番42号
設立	大正11年12月22日
自己資本	329億2千2百万円
出資金	4億6千万円
会員数	15,880名
店舗数	20店舗
役職員数	191名
営業地区	福岡県一円
自動機器設置台数	
自動入出金機 (ATM)	40台
自動両替機	14台